

第5回授業参観 全校体育・全校道徳 1.30

今年度最後の授業参観日は、地域の皆さんにも本校の特徴的な全校授業の実際を知っていただくために体育(器械運動)と道徳(性教育)を公開しました。異学年の生徒が、同じ教室で考えや技能を表現し合い、交流したり協働で取り組んだりすることを通して自らの課題を解決したり、価値観を広めたりしています。先生方も生徒達も全校授業に慣れてきており、少人数の学校だからこそできる実践として学習内容や指導項目の研究・研修を継続していきます。また、校長講話では、学校自己評価の結果及び考察をもとに来年度の取り組みをお話させていただきました。多くの皆さん、ご来校ありがとうございました。



2つの職場に行ってきました 1年職場見学 2.4



1年生全員はキャリア教育校外学習として飯田市内の2つの企業(シルクホテル、シチズン)の職場を見学してきました。当然保護者や家族、村内の仕事にも興味関心を持っていると思いますが、今回は村内にない職種に出掛けました。将来の自分を考える中で、仕事をする上で大切にしていきたい事やどんな考えや気持ちで仕事に向かい合っているのかを現地にて学ぶ貴重な機会となりました。この学びが2年生での職場体験学習につながると思います。

- ・この見学を通して『働く』ということは、とても大変なことだと思いました。お客さんと接する時は「笑顔」で対応することや、自分の会社の腕時計を使っていた人の方のことを思って製作したりすることは、相当な努力や忍耐がいるものだと思いました。シチズン時計・シルクホテル共に、会社の人々の協力によって成り立っているものだということが分かりました。
- ・自分の興味・関心、向上心、才能などが活かされる仕事もあれば、人の為に頑張って働いて人を笑顔にさせる仕事もあるということを知ることができました。『働く』ことは、大変だと思いますが、人の笑顔を見れば自分も笑顔になれる、そんな仕事に私も就くことができたらいいなと感じました。

第50回記念大会 天龍梅花駅伝大会 梅花 PROJECT 本番 2.17

快晴の元、17日(日)に天龍村の人口が約3倍となったビックイベント天龍梅花駅伝大会が中学校をメイン会場に開催されました。今回は50回という記念大会となりました。この大会に“おもてなしの心”を形に表し、年度当初から食と走の活動を展開してきました。14日には製品づくり(お茶チョコ、梅ジャムクッキー、梅ジャム、甘梅漬け)と駅伝チームの激励会を行いました。すべての生徒ひとりひとりがそれぞれの役割を任せられ、てきぱきと誠意ある態度で取り組んでいる姿に成功を感じさせてくれました。



当日は、お茶チョコ200袋、梅ジャムクッキー138袋、若鮎茶21袋すべて完売。収入合計44,300円を売り上げました。『去年売り切れで買えなかったので、今年は早目に来たんだよ』という方も見られ、販売時間前



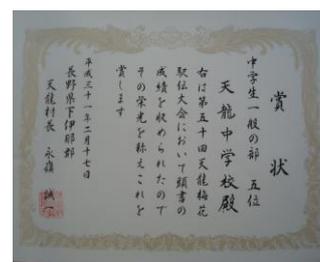
から列ができるほどの盛況ぶりに生徒の喜びと達成感のある笑顔が印象的でした。駅伝チームは中学生一般の部5位と大健闘。3年生2名の力を借りながら1, 2生中心で臨んだレースでしたが、個々の頑張りに感動しました。

今回は招待チームである佐久長聖高校駅伝チームへ手作りハンガーもプレゼントするなど、手作りのおもてなしと村を盛り上げようとする中学生の活躍に大会関係者や村民の皆さんからお褒めのお言葉をたくさんいただきました。

21日に梅花PROJECT活動まとめの会を行い、活動の振り返りを行い、成果と課題を確認し合いました。その後は輪になってのお茶会。生徒及び先生方の満足した顔や言葉が溢れていました。



・ゼッケンをもらい、その後佐久長聖の人と写真を撮りました。開会式ではハンガーを渡しました。バスに乗って移動しました。K君が走っているのを見て、速くてびっくりしました。襷を渡され走りました。辛い時もありましたが、しっかり走り切って襷をつなぎ、中学生一般の部5位もとれてすごく嬉しかったし、全校みんなで心を1つにして取り組めたのでよかったです。



・元気に明るく接客ができ、お金の計算ミスや個数の間違えもなかった所がよかった。



全校道徳 性教育月間 1.28~2.27

12月の人権教育旬間に続き、今回は性教育の学習において全校授業で学び合いました。校長講話でスタートし、3人の担任及び養護の先生の指導により、3回の全校道徳を行いました。

「性とは?」「いろいろな性」など自分と向き合い、他人を理解する学びとなりました。真剣に追究し、対話する生徒の姿は先生たちへの刺激にもなり、授業前後の職員室では「どう考え、どうとらえたらいいか」という議論に花が咲きました。生徒と共に学ぶ先生たちの光景をたくさん見る事ができました。



- ・全校道徳で「親友」について考えました。男女の親友の話だったので、考えるのが少し難しかったです。男女2人の両方の立場に立ってしっかり考えることができました。サッカーや戦いごっこ聞いた時、男の子というイメージがあると考えてしまっていたのですが、そのような偏見はやはり良くないなあとあらためて学びました。
- ・私のグループは1年生の2人とでした。私は男子の行動について書きましたが、1年生は女子にかける言葉を考えており、話を聞くと「おーっ」という所があったり、共感できる所もありました。他のグループの人の考えを聞くと、違う考えも多くあり、たくさん事を学ぶことができたと思います。

WGT(学習相談) 総合テスト・期末テストに向けて 2.17



3学期そして1年の締めくくりとなるテストに向け、今年度最後の学習相談が実施されました。自分の課題を明確にして、先生方に質問し説明を受ける真剣な姿がどの教室からも見る事ができました。何点取ったかだけでなく、「どこが分からず、どこは理解できているか」「進級や進



学に向けて、取り組まなければならない分野や内容はどこか」をきちんと分析して対策を立ててほしいです。普段から疑問を声に出し、解決していく積極性を心掛けていきたいです。

3学期 思い思いの芸術作品が生まれました

譲葉祭以降、美術や技術家庭で生徒が夢中になって作ってきた作品が廊下等に展示されています。限られた時間の中で思い描いたイメージに近づけようと丁寧に打ち込んだ成果が、芸術作品として輝いて見えます。

- ・美術で籠を作りました。細長い藁のような紐であんでいきました。途中からは同じ作業を繰り返すので、あまり難しくはありませんでしたが、最初の土台を作るのが少し難しかったです。上手くできたと思うので、良かったです。
- ・美術の前の授業で底を編んであったので、側面を編みました。先生にコツを教えてもらい最後は口の部分を編みました。授業が残り1回と考えると、すごく楽しみです。
- ・技術でペンスタンドをやすりでただひたすら磨きました。1500番で磨いたり、布で拭いたりピカールで磨きました。しっかり磨いて納得のいくものができてよかったです。
- ・磨き続けているとだんだん自分の顔が見られるようになってきました。「結構きれいに磨けたなー」と思っていたけれど、先に磨きに入っていた3人を見たら比べものにならないほどきれいに磨けていたので、とてもすごかったしとても驚きました。もう少しきれいに磨きたかったけど、形はきれいな丸にできたので良かったです。



お知らせ1

新しいALTの先生をお迎えしました 3.1

3月より新しいALTとして、Maxine Brodie (マクシーン・ブロディ) 先生が着任されました。オーストラリア出身で、3ヶ月前に来日され本校が初めての勤務となります。スノーボードやランニングなどスポーツの好きな女性です。天龍小や売木小中にも行きます。





お知らせ2 懸垂幕を作っていただきました 2.7

すでにご存知かと思いますが、昨年度の梅花PROJECT 第五回信州おもてなし大賞 特別奨励賞受賞及び本年度ふるさとの森林づくり賞県知事賞受賞の記念とお祝いに、村より懸垂幕をいただきました。小学校のブッポウソウ保護活動と合わせ、これらの活動が天龍村の誇れる取り組みとして継承していく気持ちを強くしました。

お知らせ3 南信州木づくり大賞を受賞 2.22

本年度長野県南信州地域振興局主催の南信州元気な森林づくり賞コンクールにおいて、本校の手作りハンガーPROJECT で木づかい大賞を受賞しました。22日に行われた授賞式には前生徒会長が代表で参加し、副賞としてデジタルフォトフレームをいただきました。複数のハンガーPROJECT にかかわる写真を写しだしています。ご来校の折にご覧下さい。



ハンガーPROJECT 東海大学陸上部へ贈呈 1.31

2月23日現在、854本完成しました。村民と一緒に製作会とは別に、1年生を中心として3年生の卒業に向けてハンガー製作に熱心に取り組んでいます。また、もう一度、全校13名でハンガーを製作したいと考え、生徒自身が3月8日に校内ハンガー製作会を企画しました。これも“ユズリハの精神”が後輩に引き継がれていく本校の伝統なのだと思います。

先月は東海大学陸上競技部へハンガーをお渡ししました。そして東海大学OBで、マラソン日本代表をねらう村澤明伸選手（佐久長聖高校卒、塩尻出身で中学生でも梅花駅伝大会出場経験あり、日清食品所属）にハンガーが届けられました。応援したい選手が増えていきます。御礼に日清食品からカップラーメンが生徒達へ届き、思ってもみなかったプレゼントに大喜びでした。

・土曜日にハンガー製作会がありました。初めて行きました。玲奈さんも来たので一緒にやりました。玲奈さんは焼き印を、自分はナットを締める役でした。フックが少なくなってきたので削っていたら地域のおじさんがねじ切りを機械でやってくれました。フックが足りてきたのでまたナットをつけていきました。ハンガー作りには遠山の中学生や地域の人も何人かいました。遠いところからわざわざ来てくださるとても嬉しいと思いました。地域の方からの手伝いや助けがあり、たくさんのハンガーが作られていることにあらためて感謝しました。また、次の製作会も行きたいと思いました。

